



「虹の松原」 松くい虫防除（空中散布）を実施



～ 佐賀県、唐津市、唐津警察署、地元の団体等の協力を得て松くい虫防除を実施 ～

【実施内容】

5月24日、佐賀県唐津市の「虹の松原国有林（約210 haのうち約143 ha）」で関係行政機関，地元団体等の御理解と御協力をいただき松くい虫特別防除（空中散布）を実施しました。

【松くい虫防除とは】

この特別防除は、松の枯死の原因として大きく関わっているマツノザイセンチュウを運ぶ、マツノマダラカミキリを防除することを目的としています。昨年度は196本の松くい虫被害木が発生し、過去5年間の平均でも約200本の松くい虫被害木が発生していますが、ピーク時の1/10以下となっており低水準に抑えられています。

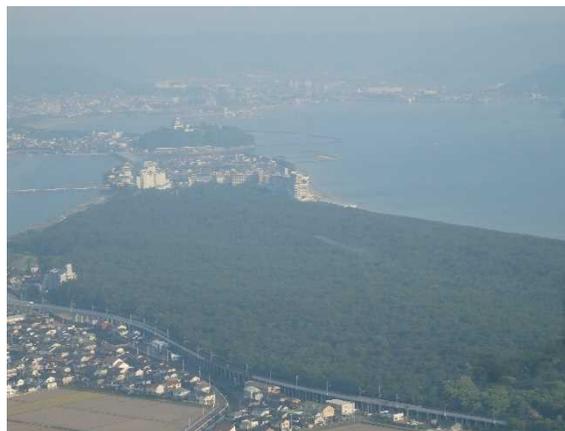
【虹の松原について】

虹の松原は、約400年前に初代藩主寺沢広高が、潮風や飛砂から田畑，人家などを守るために海岸線の砂丘にクロマツの植栽を命じたとされています。現在、虹の松原には約100万本の松が生育しているとされ、防災機能と併せて優れた景観から国の特別名勝，玄海国定公園，風致探勝林に指定され地域振興にも大きな役割を果たしており，地域住民，関係団体等が協力し大切に引き継がれています。

当署としましても、この大切な松林を保全していくために引き続き取り組んでいくこととしています。



地上散布の様子



ヘリコプターによる空中散布の様子



白石 佐賀森林管理署長（中央：本部長）挨拶

【 空中散布航路確認の様子 】



【 空中散布事前打ち合わせ(上空)の様子 】



【 新しいいのち 】



【 地上散布の様子 】

